

健康状態

(1) 疾病・異常等の状況

◆表7 主な疾病・異常等の被患率

(単位：%)

区分	裸眼視力1.0未満の者	眼の疾病・異常	耳疾患者	鼻・副鼻腔疾患	むし歯(う歯)			歯列・咬合	アトピー皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
					計	処完了置者	未処置者						
幼稚園	埼玉県(前年度)	X (15.2)	0.1 (0.6)	0.0 -	1.2 (0.0)	20.4 (22.2)	8.0 (10.7)	12.3 (11.5)	2.5 (1.7)	1.1 (1.0)	… …	0.9 (0.8)	1.2 (0.9)
	全国	25.0	1.3	2.4	3.0	24.9	10.1	14.9	4.3	1.6	…	0.9	1.1
小学校	埼玉県(前年度)	35.5 (34.4)	4.0 (3.7)	6.2 (6.5)	7.4 (8.3)	30.9 (29.1)	18.2 (17.0)	12.8 (12.2)	2.5 (4.1)	2.4 (2.7)	2.0 (1.7)	1.7 (1.5)	2.6 (3.0)
	全国	37.9	5.3	6.6	11.4	37.0	19.3	17.7	4.6	3.1	2.6	1.0	2.9
中学校	埼玉県(前年度)	X (X)	3.1 (2.7)	4.8 (4.8)	7.2 (7.0)	21.4 (25.8)	13.3 (14.1)	8.0 (11.7)	3.0 (6.1)	2.5 (2.4)	2.5 (1.9)	3.4 (4.0)	2.0 (2.3)
	全国	61.2	5.0	4.8	10.7	28.2	16.8	11.4	5.3	3.0	3.2	2.9	2.2
高等学校	埼玉県(前年度)	82.1 (X)	3.0 (2.5)	2.3 (3.1)	8.7 (6.0)	34.5 (35.2)	19.0 (21.7)	15.5 (13.6)	6.3 (5.0)	1.4 (1.2)	3.2 (2.9)	3.2 (2.3)	1.1 (1.4)
	全国	71.6	3.6	2.3	8.5	38.3	23.8	14.5	4.6	2.7	3.0	2.8	1.7

注) 1 全国の値については、小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ調査対象としている。

(2) 主な疾病・異常等の状況

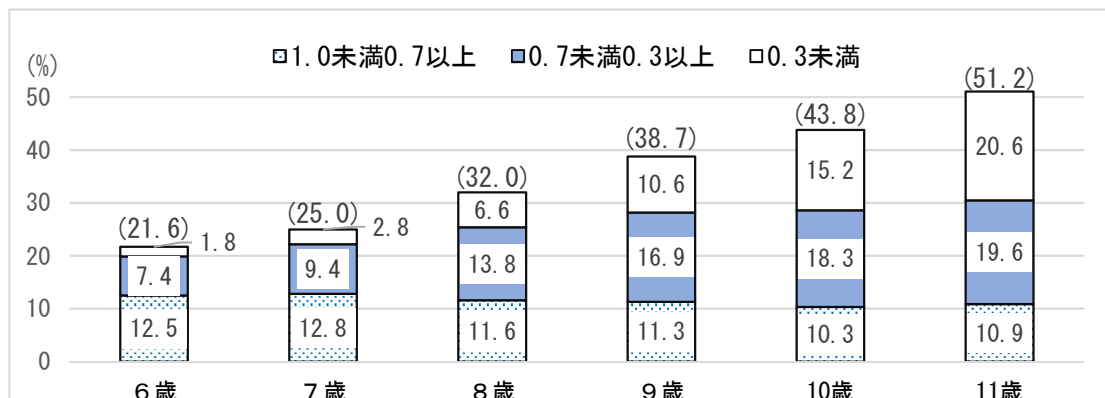
ア 裸眼視力(表7・8・9、図7・8・9、統計表4・5・9)

・裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれ高くなっており、小学校は35.5%と過去最多となった。7歳では約4人に1人(25.0%)、11歳では半数以上(51.2%)となっている。

・裸眼視力0.3未満の者の割合は、学年が上がるとともに増加し、6歳(小学校1年生)の1.8%に比べ、11歳(小学校6年生)では20.6%と、18.8ポイント増加している。

・全国と比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、全年齢で下回っている。

◆図7 小学生の年齢別 裸眼視力1.0未満の者の割合(埼玉県)

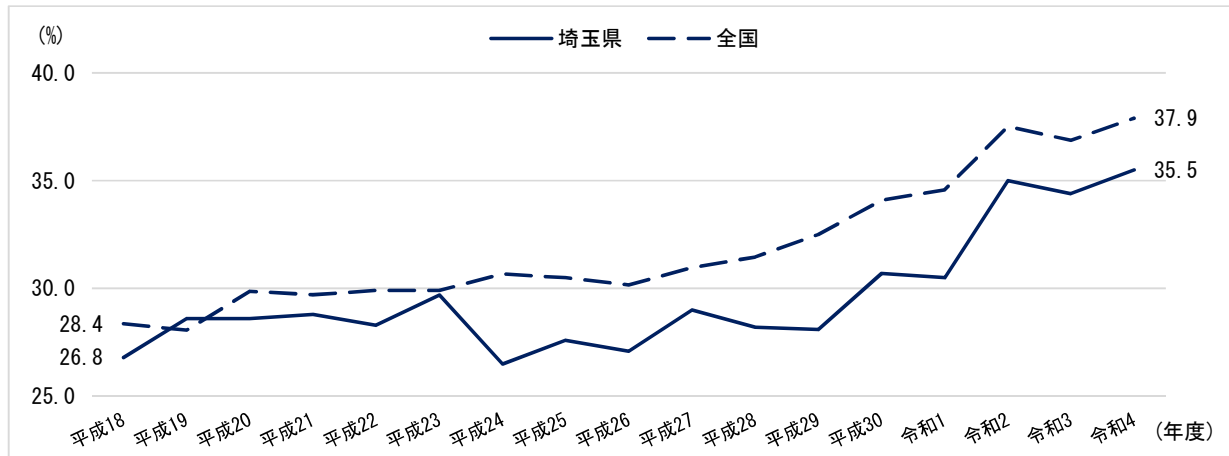


◆表8 小学生の裸眼視力1.0未満の者の比率の推移（過去10年）

（単位：％）

年度	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4
埼玉県(A)	26.5	27.6	27.1	29.0	28.2	28.1	30.7	30.5	35.0	34.4	35.5
全国(B)	30.7	30.5	30.2	31.0	31.5	32.5	34.1	34.6	37.5	36.9	37.9

◆図8 小学生の裸眼視力1.0未満の者の比率の推移

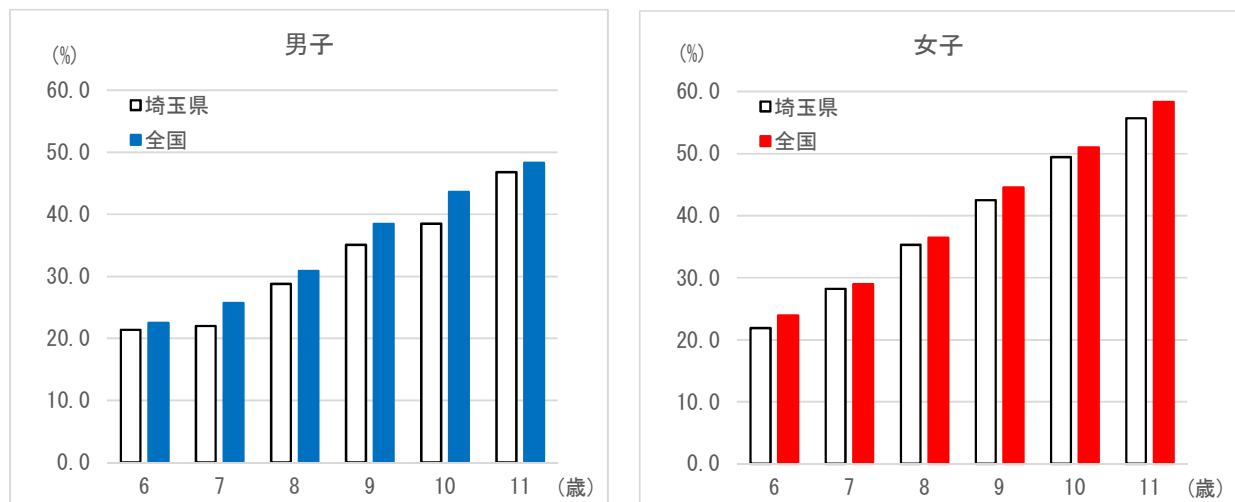


◆表9 小学生の年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合

（単位：％）

区分		男			女		
		埼玉県(A)	全国(B)	全国差(A-B)	埼玉県(A)	全国(B)	全国差(A-B)
小学校	6歳	21.4	22.5	-1.1	21.9	23.9	-2.0
	7歳	22.0	25.7	-3.7	28.2	28.9	-0.7
	8歳	28.8	30.9	-2.1	35.3	36.5	-1.2
	9歳	35.1	38.4	-3.3	42.5	44.6	-2.1
	10歳	38.5	43.6	-5.1	49.4	51.0	-1.6
	11歳	46.8	48.3	-1.5	55.7	58.4	-2.7

◆図9 小学生の年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合の全国との比較



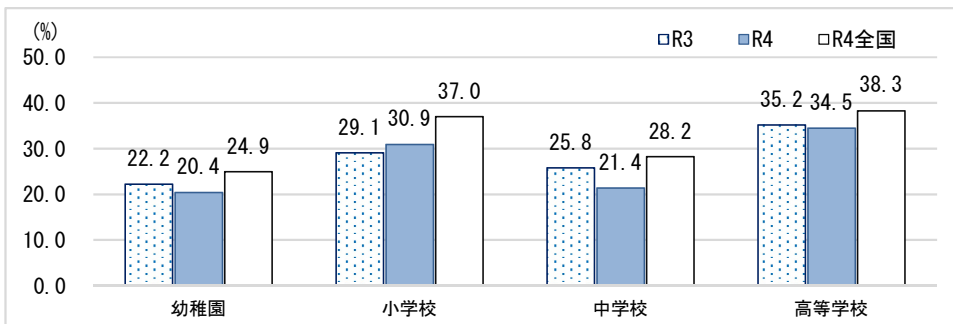
イ むし歯（う歯）（表10、図10・11、統計表4・5・9）

- ・むし歯（処置完了者を含む）の者の割合は、小学校・高等学校で4割以下、幼稚園・中学校で3割以下となっている。
- ・全国と比較すると、むし歯の者の割合は、すべての年齢で下回った。
- ・むし歯（う歯）の者の割合は、17歳（37.8%）が最も高くなっている。

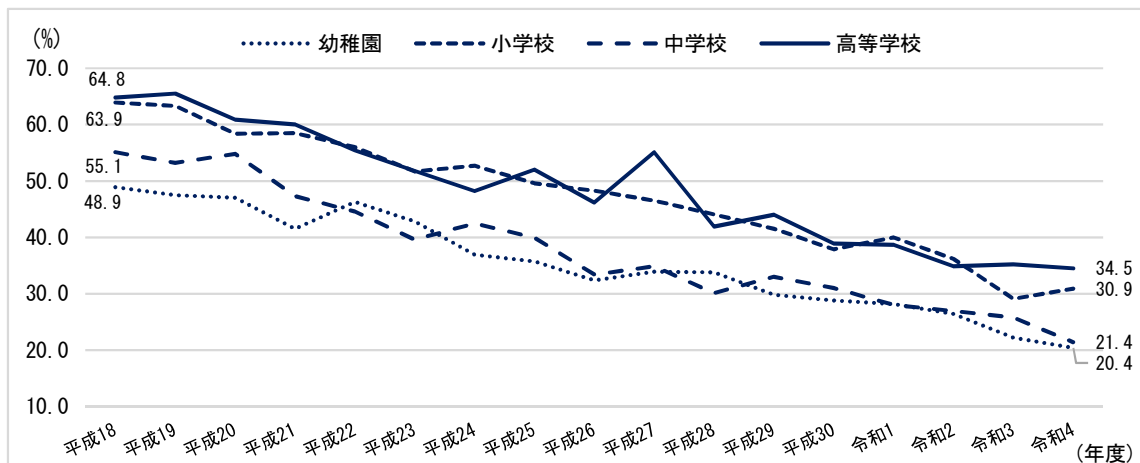
◆表10 年齢別むし歯（う歯）の者の割合 (単位：%)

区分	年齢	埼玉県 (A)		前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
		処置完了者	未処置歯のある者				
幼稚園	5歳	20.4	12.3	22.2	-1.8	24.9	-4.5
	6歳	23.4	12.3	23.5	-0.1	30.0	-6.6
小学校	7歳	31.8	14.1	29.9	1.9	37.3	-5.5
	8歳	35.9	15.2	34.8	1.1	42.8	-6.9
	9歳	37.7	14.5	34.8	2.9	44.3	-6.6
	10歳	32.0	11.8	29.0	3.0	38.0	-6.0
	11歳	25.0	8.9	23.1	1.9	29.9	-4.9
中学校	12歳	20.9	8.9	23.9	-3.0	25.8	-4.9
	13歳	21.9	7.7	24.7	-2.8	28.2	-6.3
	14歳	21.2	7.5	29.0	-7.8	30.7	-9.5
高等学校	15歳	31.4	14.2	31.2	0.2	33.9	-2.5
	16歳	34.4	15.6	34.7	-0.3	38.2	-3.8
	17歳	37.8	16.8	39.7	-1.9	43.1	-5.3

◆図10 学校段階別むし歯（う歯）の者の割合



◆図11 むし歯（う歯）の者の割合の推移（埼玉県）



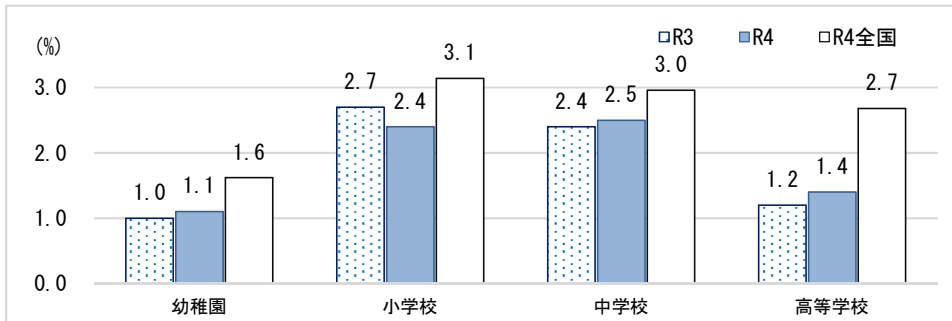
ウ アトピー性皮膚炎（表11、図12・13、統計表4・5・9）

- ・被患率を年齢別にみると、8歳（3.3%）が最も高くなっている。
- ・アトピー性皮膚炎の者の割合は、前年度と比較して、小学校で減少した。
- ・全国と比較すると、アトピー性皮膚炎の者の割合は、8歳を除くすべての年齢で下回った。

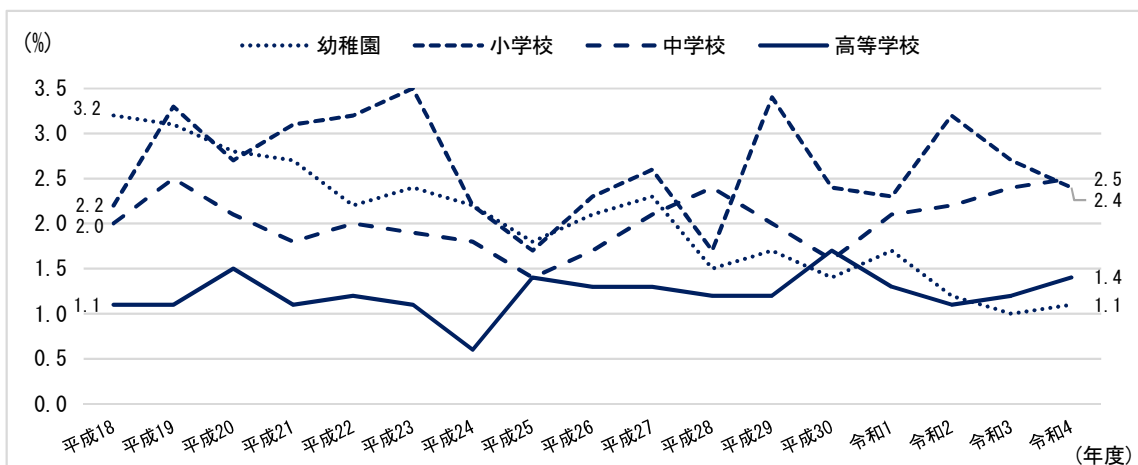
◆表11 年齢別アトピー性皮膚炎の者の割合（単位：％）

区分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	1.1	1.0	0.1	1.6	-0.5
	6歳	2.0	2.1	-0.1	2.9	-0.9
小学校	7歳	2.5	2.6	-0.1	3.2	-0.7
	8歳	3.3	2.4	0.9	3.2	0.1
	9歳	2.1	3.1	-1.0	3.2	-1.1
	10歳	2.4	2.8	-0.4	3.2	-0.8
	11歳	2.0	3.1	-1.1	3.1	-1.1
中学校	12歳	2.7	2.5	0.2	3.0	-0.3
	13歳	2.4	2.4	0.0	2.9	-0.5
	14歳	2.5	2.4	0.1	2.9	-0.4
高等学校	15歳	1.5	1.2	0.3	2.7	-1.2
	16歳	1.4	1.0	0.4	2.7	-1.3
	17歳	1.3	1.2	0.1	2.6	-1.3

◆図12 学校段階別アトピー性皮膚炎の者の割合



◆図13 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移（埼玉県）



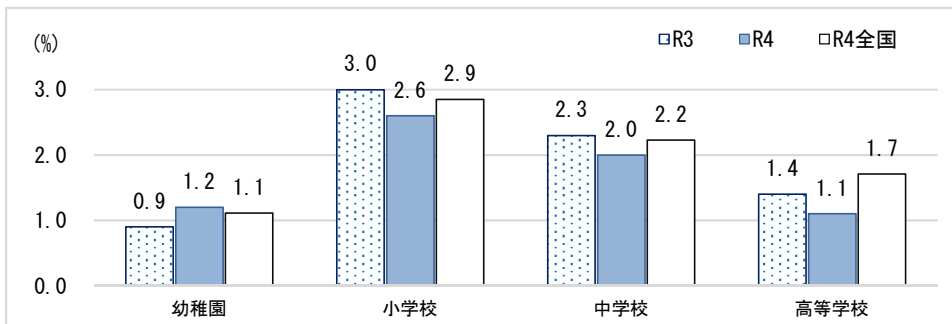
エ ぜん息（表12、図14・15、統計表4・5・9）

- ・被患率を年齢別にみると、7歳（2.9%）が最も高くなっている。
- ・ぜん息の者の割合は、前年度と比較して、半数以上の年齢で減少した。
- ・全国と比較すると、半数以上の年齢で下回っている。

◆表12 ぜん息の者の割合（単位：%）

区分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	1.2	0.9	0.3	1.1	0.1
	6歳	2.3	2.3	0.0	2.9	-0.6
小学校	7歳	2.9	3.3	-0.4	2.9	0.0
	8歳	2.8	3.1	-0.3	3.0	-0.2
	9歳	2.5	2.9	-0.4	2.8	-0.3
	10歳	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0
	11歳	2.4	3.7	-1.3	2.7	-0.3
中学校	12歳	1.7	2.3	-0.6	2.2	-0.5
	13歳	2.0	2.2	-0.2	2.3	-0.3
	14歳	2.2	2.3	-0.1	2.3	-0.1
高等学校	15歳	1.0	1.3	-0.3	1.7	-0.7
	16歳	1.2	1.3	-0.1	1.7	-0.5
	17歳	1.1	1.5	-0.4	1.8	-0.7

◆図14 学校段階別ぜん息の者の割合



◆図15 ぜん息の者の割合の推移（埼玉県）

